

 神埼市立 千代田中学校	第 1 号 文責(校長 原田 浩臣) 2024/4/17発行 “ 千代田中だより ” 千代田中学校教育目標 夢と誇りを持ち 自ら学び行動できる 心身共に調和のとれた生徒の育成 https://www.education.saga.jp/hp/chiyoda-j/ TEL 0952-44-2222	
新年度がスタートしました 令和6年度は、新入生79名を迎え、全校生徒255名でスタートしました。 千代田中学校勤務3年目となります校長の 原田 浩臣 です。これからも、さらに歴史を積み重ねていけるように全職員で力を合わせ、学力向上や小中連携などの取組を推進し、地域に根づき、笑顔と感動があふれる学校となるべく努力して参ります。引き続き、保護者及び地域の皆様方のご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。 本校の校訓は、「自立・鍛錬・友愛」です。学校目標は、「夢と誇りを持ち 自ら学び行動できる 心身共に調和のとれた生徒の育成」です。また、教育目標実現のため以下の3点が職員の今年度の重点目標です。 1 授業では指導方法の工夫・改善を行い、家庭では基本的な生活習慣及び家庭学習の定着を図り、学力向上をめざす。 2 生徒を中心に据えた「豊かな心」を育む開発的な生徒指導を行い、「人間力」を高める。 3 人権意識を磨き、人権・同和教育を推進する。 この3つの重点目標を基本に教育活動を実践していきますが、それが効果を上げるためには、保護者のご理解とご協力、また、地域の方々のご支援がなくてはならないものと考えております。お忙しい中とは思いますが、一人でも多くの方が千代田中の応援団としてご支援・応援いただければと期待しております。どうかよろしくお願いいたします。		
定期異動で、退職・転出された先生の紹介 今年度の定期異動で転出された先生方を紹介します。千代田中学校勤務の際は、多大なご支援とご協力を賜りありがとうございました。	定期異動で、転入された先生の紹介 今年度の定期異動で新しくおいでいただいた先生方を紹介します。これから力を合わせて頑張ります。よろしくお願いいたします。	
陰徳あれば陽報あり 「陰徳」という言葉を知りました。人に知られないところでの善い行いのことを言うそうです。陰徳は周りの人のためになりますが、なかなか継続して行うことは難しいです。なぜなら、「陰徳」は人知れずに行うものなので、だれからも感謝や賞賛の言葉がもらえないからです。一回や二回ならできるかもしれませんが、続けて何回もとなると継続は難しいと思います。 調べてみると、昔からのことわざに「陰徳あれば陽報あり」というのがあります。人知れず善行を積んだものには必ず良い報い（見返り）がはっきりと現れるという意味です。報い（見返り）を求めない行為は真の実力や信用が生まれてくるものです。目に見える良い行動が素晴らしいのはもちろんですが、誰も見ていないところでの良い行動は、同等、あるいはそれ以上に価値のある行動ではないでしょうか。 私たち教師にとって何より大切なことは、教師は自身の行動で模範を示し、生徒や保護者・地域の方から真の信用を得ることだと思います。また、教師自身が行動することで、生徒の良い行動に気づき、ほめることを大切にしていきたいと思います。その積み重ねが新しい良い行動を行う人を生み、千代田中全体に広がっていくことを期待しています。		

入学式を挙行了しました



春の暖かな4月11日（木）に、本校第67回入学式を行い、79名の新入生を迎えることができました。一人一人の元気な返事をステージ上から見てみると、この千代田中がますます活気にあふれる学校になっていくと確信しました。これで令和6年度の全校生徒255名がそろいました。この日から新しい「千代田丸」の出航です。どんな旅になるのか生徒の皆さんとともにわくわくしています。

教科書授与では新入生を代表して新しい教科書を受け取り、「一生懸命頑張ります」と答えてくれました。

また、新入生代表が「新入生誓いの言葉」を述べ、中学生として決意を新たにしてくれました。思い出に残る三年間になるように職員一同、尽力していきたいと思います。

【誓いの言葉】

私たちは、今朝、新しい制服に袖を通し、ドキドキしながら登校しました。これまでとは大きく環境が変わり「難しい学習についていけるだろうか」「新しい友達と仲良くできるだろうか」といった不安もありますが、新しい教科の学習、そして、先輩方とともに汗を流す部活動など、これから始まる中学校生活に大きな期待を抱いています。

これまで、私たちは、小学校において六年間、「白鳥蘆花に入る」の教えのもと学んできました。今はまだ、わからないことが多い私たちですが「自立・鍛錬・友愛」という千代田中学校の校訓をしっかりと心に刻み、これまで学んできたことを生かしながら、一生懸命努力してまいります。そして、新しい仲間とともにどんなことにも挑み続ける強い気持ちと、私たちを支えてくださる方々への感謝の思いを大切にしながら、三年間心を込めて過ごすことをここに誓います。

先生方、先輩方、そして地域の皆様、これから先ご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、千代田中学校の生徒としても誇りと自覚を忘れず、責任を持って頑張ってまいりますので、ご指導のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。

令和6年4月11日 新入生代表



【式辞】

一年生の皆さん、中学校への入学、おめでとうございます。皆さんの入学を心待ちにしていました。先ほど、79名の新入生の一人一人の入場と元気な返事の様子を観ていました。とてもいい表情で、私も嬉しく思います。これまでに一万二千名以上が本校で学んできました。校舎は古くなりましたが、これまでの歴史と伝統をしっかりと引き継ぐとともに、皆さんと共に千代田中学校の新しい歴史と良き伝統を創っていきたいと思います。

将来、ここ千代田町や神崎市・佐賀県に、そして日本や世界で貢献できる人間育成を目指し、また、夢を実現すべく人間力を高めて欲しいと願います。人間力とは、「心力・学力・体力」のことです。よりよい習慣から将来に役立つ確かな人間力を身に付けてください。

皆さんの長い一生の中で、中学時代はわずか三年間と短いものですが、この三年間は、人生の中で成長が一番著しく、人間づくりの基礎となる、大切な時期です。その中学校生活の指針として三つのことをお話します。

一つ目は、『夢や志をもって、それに向かって挑戦する。』ということです。

夢をもってそれに挑戦し目標を完遂する過程を通して人間は成長します。失敗を恐れることなく、多くのことに挑戦してください。「いいと思ったことは、即実践。まずは、やってみること」です。三年後には、自分の進路を決定しなければなりません。希望する進路を実現させるには、まずは夢や志をしっかりともち、三年後の自分の姿を一年生の時から想像し、その未来の自分になるために、今、何をしなければならないのかをいつも考えて生活することが大切です。

二つ目に、色々な場面で、『教えてもらうのではなく、自ら学び取る。仲間と協力して学び取る。』ということです。

学力を上げる上で最も大切なのは授業です。集中し、自ら進んで学習に取り組むことです。そして根気強く続けることで、確かな学力を身に付けることができます。さらに自分の考えだけでなく、周りの人の考えにも耳を傾け、お互いに助け合い、学び合い、高め合うことで深まり、成長します。

三つめは、「素直な心を持ち続けてほしい。」と思います。

素直な人は、いろいろなことを吸収する能力をもっています。家族の言葉や先生方の言葉を素直に信じて実行しましょう。必ず成果が現れます。そして、正直であり、優しさや思いやりなど、心の健康な人になってほしいと思います。

皆さんのこの三年間を豊かで実りあるものとし、次の展望が拓けるように、先生方も一丸となって精一杯、あなたたちを支援・指導・応援します。また、二年生・三年生の先輩たちも、様々な場面で、皆さんをしっかり支えてくれることでしょう。

最後になりますが、本校教育にご支援ご尽力いただいているすべての方々に感謝し、新入生の皆さんのこれからの活躍を期待して、学校長の式辞といたします。

令和六年四月十一日 神崎市立千代田中学校 校長 原田 浩臣